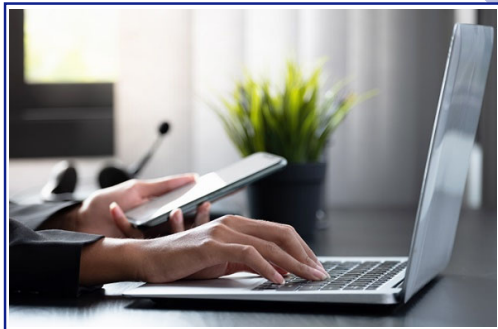


第76回 定時株主総会

2023年6月28日

事業の概況

スマートフォン・PC



低迷



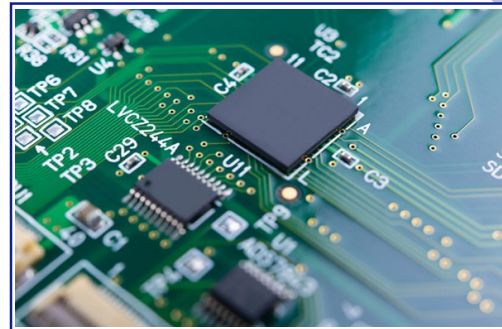
産業機器・自動車向け



堅調に推移

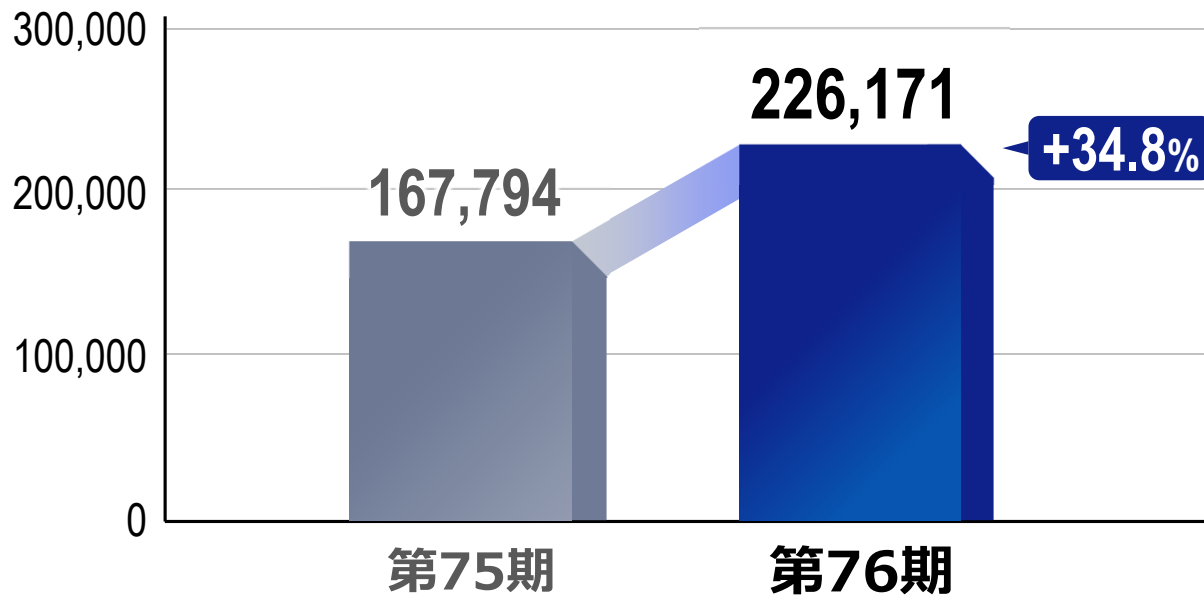


半導体市場

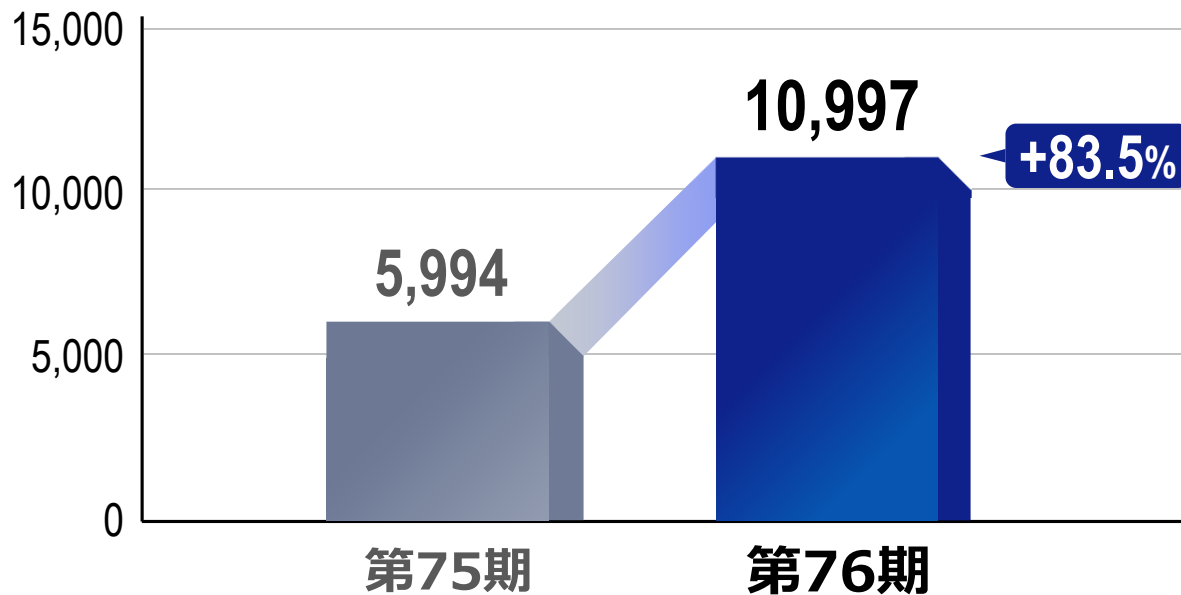


需給バランスが二極化

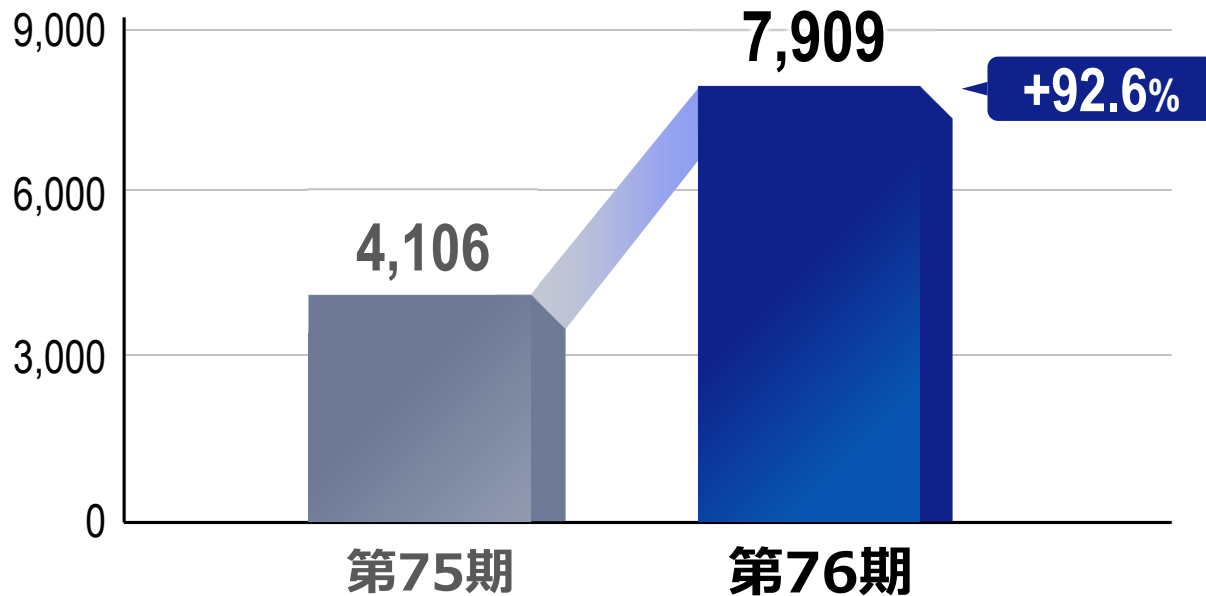
(単位：百万円)



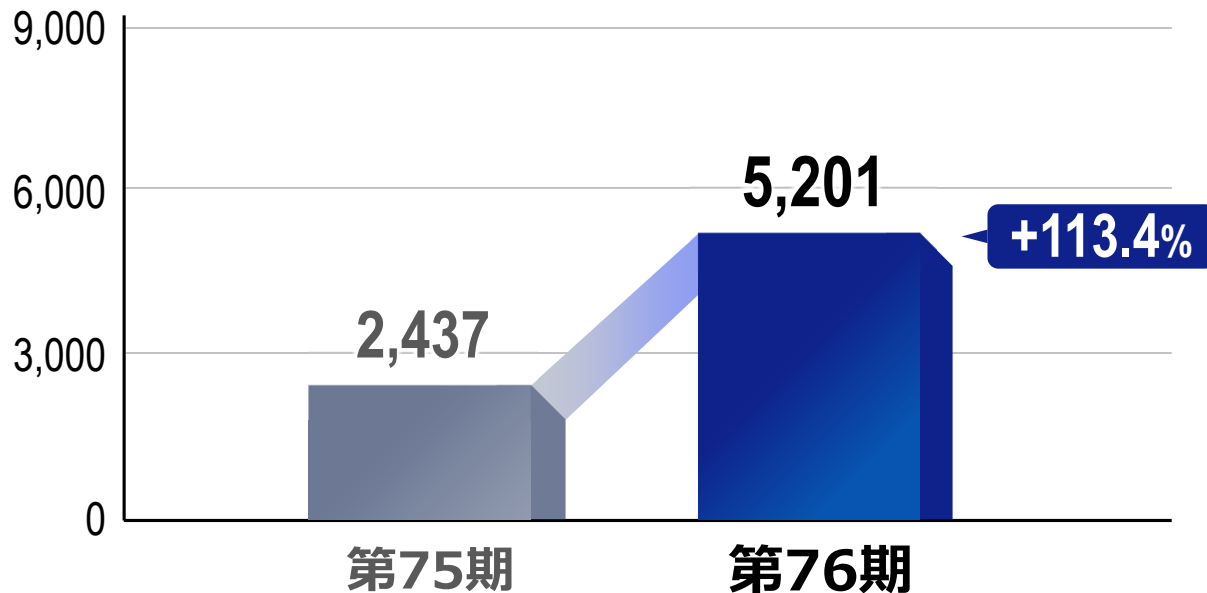
(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)



セグメント別の業績

民生機器向け



大幅に伸長



産業機器向け



好調に推移



データセンター・ 自動車向け

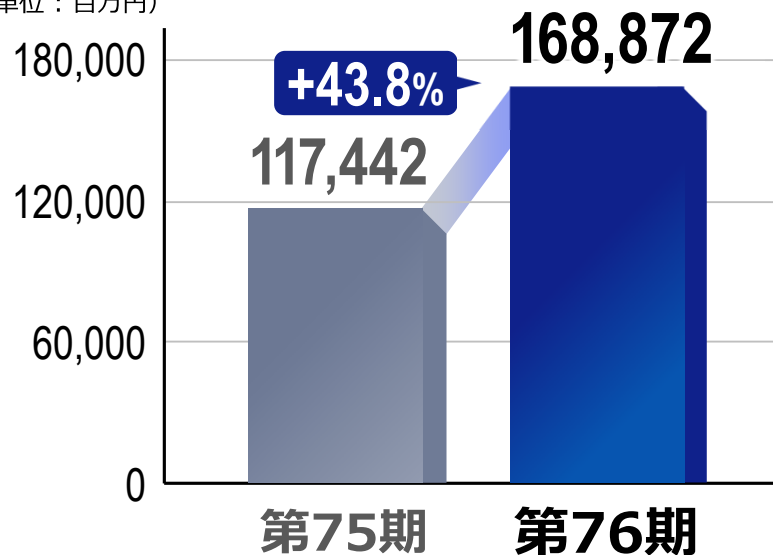


増加



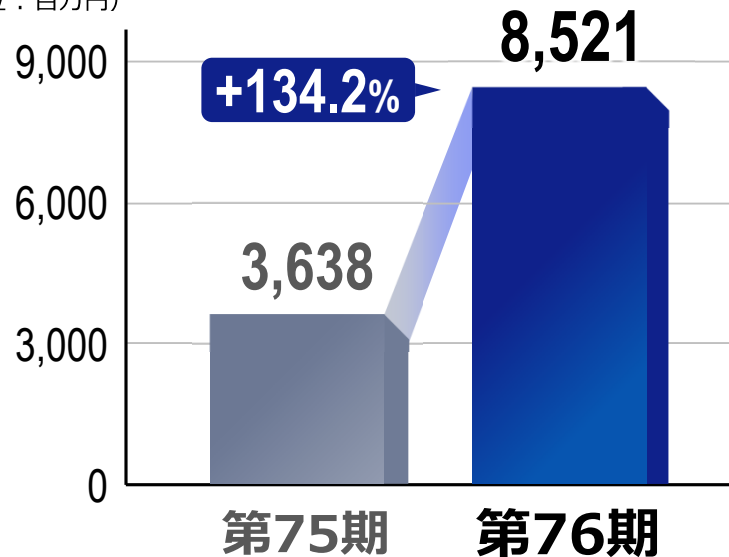
売上高

(単位：百万円)

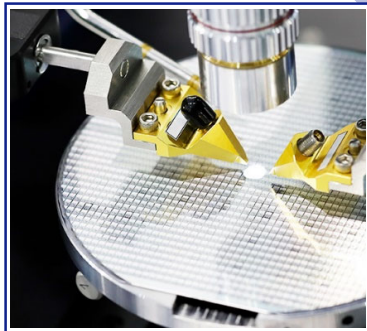


セグメント利益

(単位：百万円)



産業機器分野



需要増加 

医用機器分野



売上伸長 

レーザ機器分野



堅調に推移 

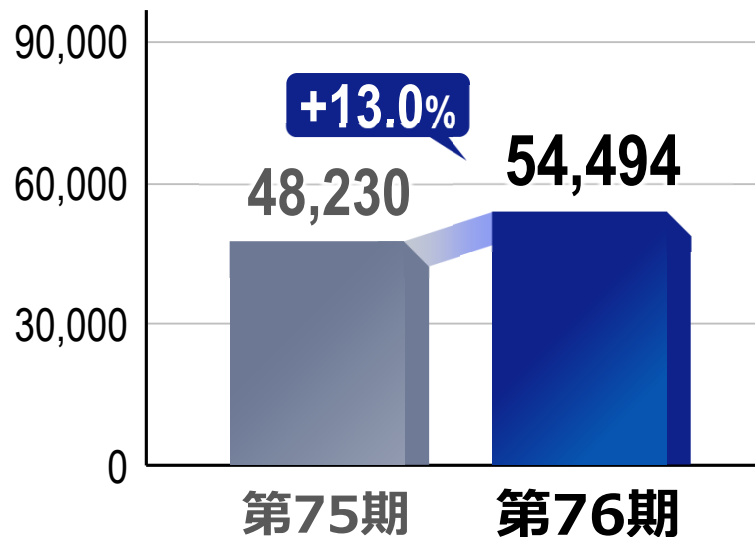
航空 宇宙機器分野



増加 

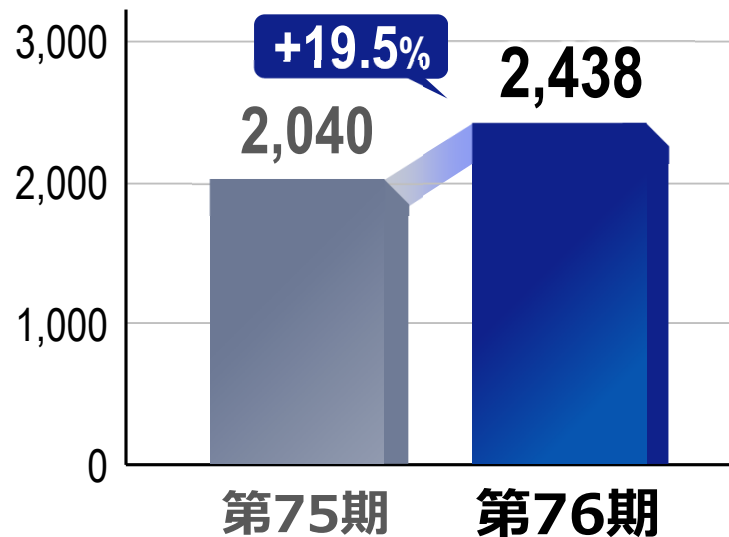
売上高

(単位：百万円)

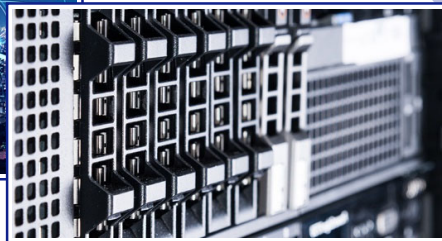


セグメント利益

(単位：百万円)



通信インフラ向け

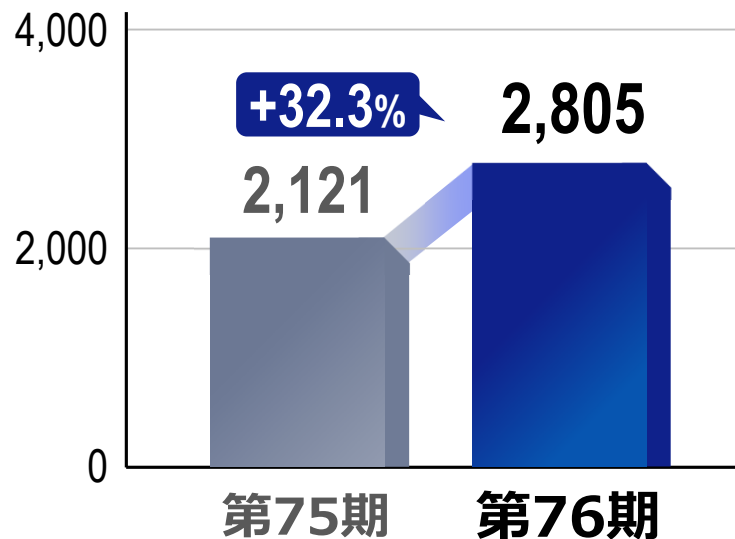


光通信関連商材の需要増



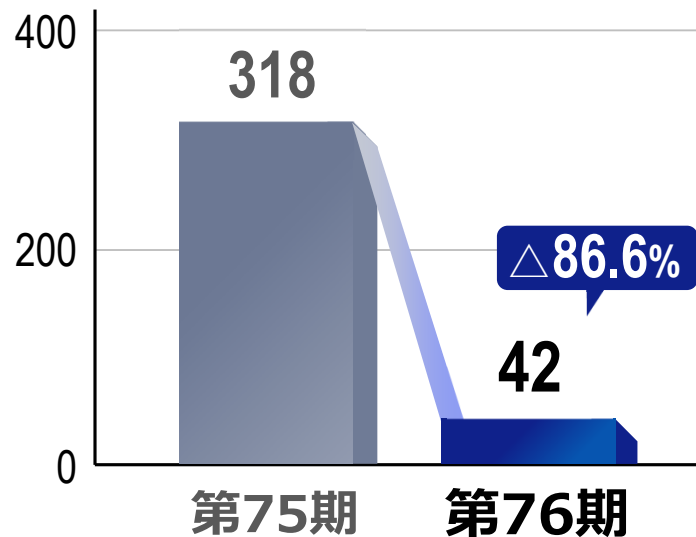
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



連結計算書類

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前 期	当 期	前期比
流動資産	137,604	166,143	+28,538
固定資産	10,575	9,855	△ 719
資産合計	148,179	175,998	+27,818

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
流動負債	94,746	117,089	+22,342
固定負債	5,858	5,824	△ 33
負債合計	100,604	122,913	+22,308

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前 期	当 期	前期比
株主資本合計	41,168	45,325	+4,156
純資産合計	47,574	53,084	+5,509
負債純資産合計	148,179	175,998	+27,818

連結株主資本等変動計算書（要旨）

利益剰余金合計

（単位：百万円）

第75期末残高	41,168
剰余金の配当	△ 1,045
親会社株主に帰属する当期純利益	5,201
当期変動額合計	4,156
第76期末残高	45,325

第75期 期末配当
1株20円

第76期 中間配当
1株20円

単体計算書類

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前 期	当 期	前期比
流動資産	110,104	135,501	+25,397
固定資産	7,360	6,819	△ 541
資産合計	117,464	142,320	+24,855

資産の部

負債の部

純資産の部

(単位：百万円)

	前期	当期	前期比
流動負債	81,694	102,065	+20,370
固定負債	5,216	5,173	△ 43
負債合計	86,911	107,238	+20,327

資産の部

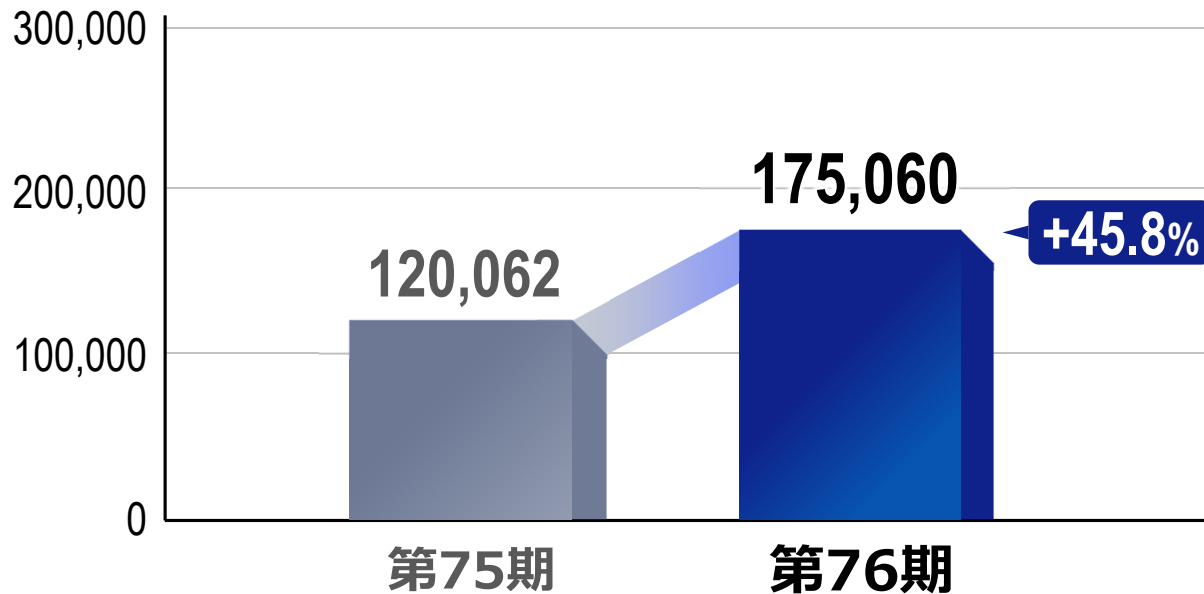
負債の部

純資産の部

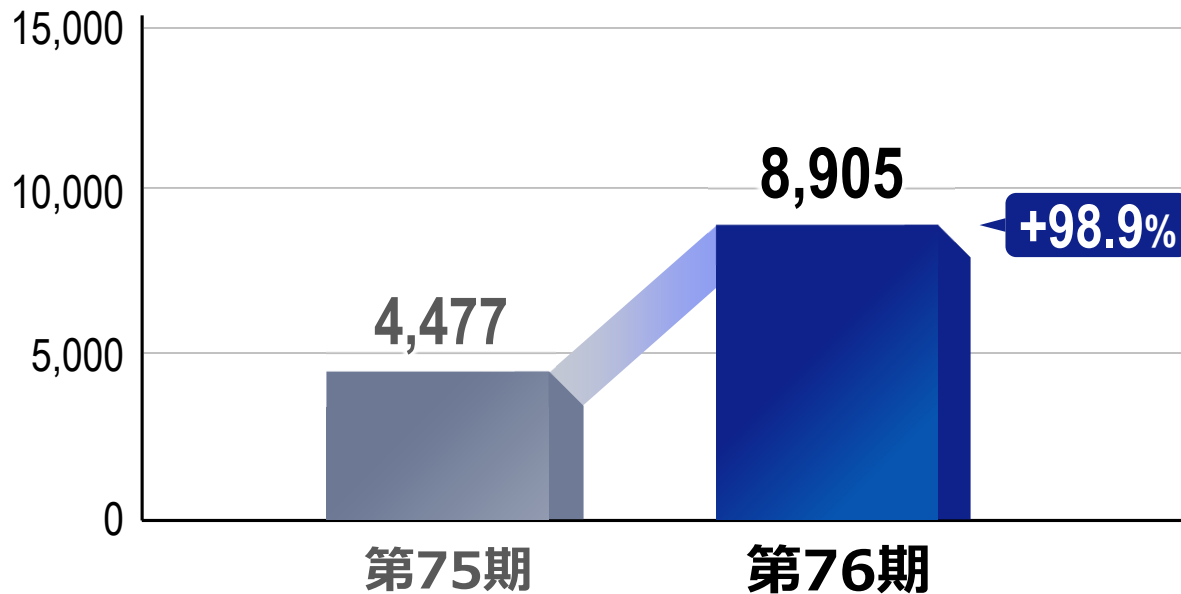
(単位：百万円)

	前 期	当 期	前期比
株主資本合計	30,026	34,572	+4,546
純資産合計	30,553	35,082	+4,528
負債純資産合計	117,464	142,320	+24,855

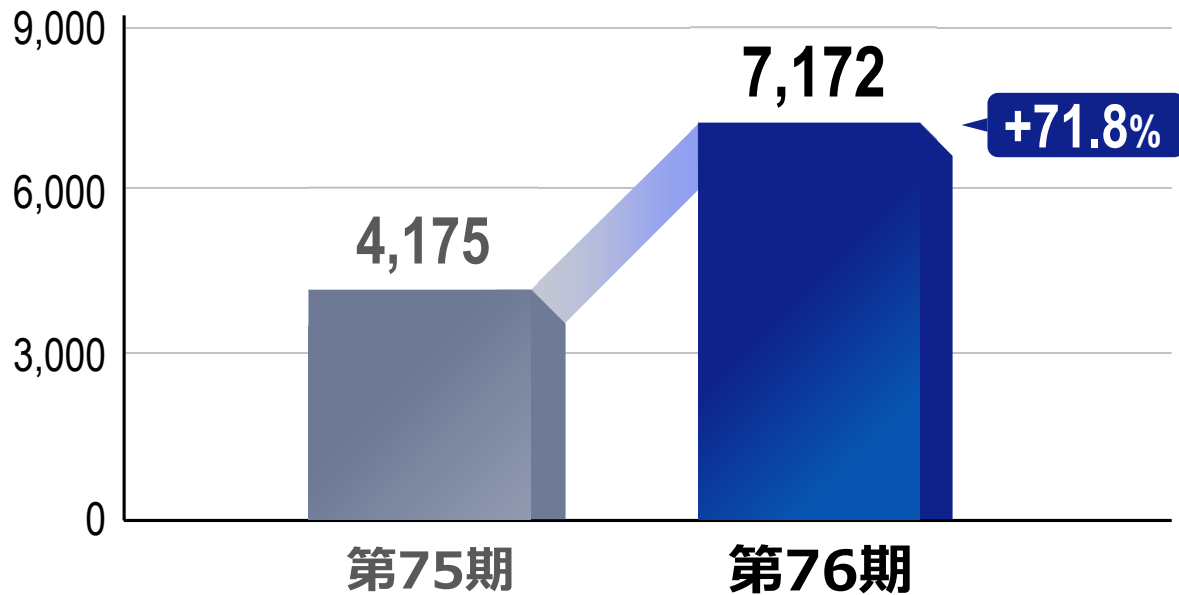
(単位：百万円)



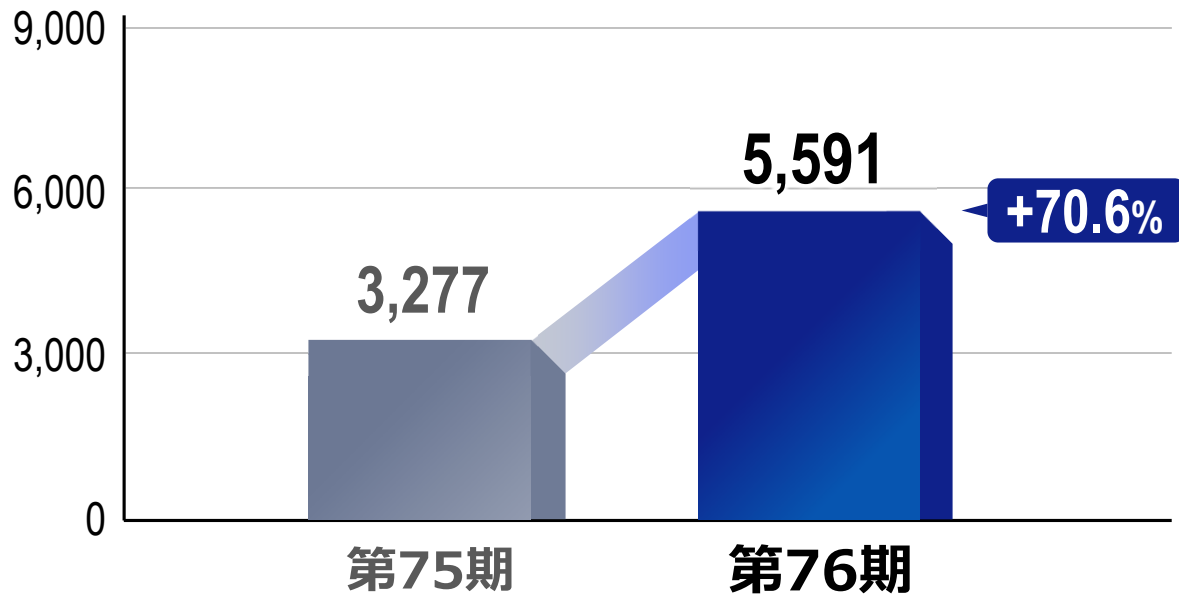
(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)



株主資本等変動計算書（要旨）

利益剰余金合計

（単位：百万円）

第75期末残高	19,089
剰余金の配当	△ 1,045
当期純利益	5,591
当期変動額合計	4,546
第76期末残高	23,635

第75期 期末配当
1株20円

第76期 中間配当
1株20円

対処すべき課題

AI活用の広まり

デジタル化の進展

グリーン化への
取り組み

自動車分野

産業分野

インフラ分野

今後も市場拡大が続く見込み

「未来」をつなぐ、
「技術」で繋ぐ。

／ サステナビリティ経営の推進

／ 新たな事業領域への進出と成長基盤の構築

／ 既存事業の“選択と集中”の促進とソリューション開発強化

／ グループ経営の強化

／ 業務基盤の整備と内部プロセスの改善

■ 新規商材・新規商権の開発推進

アナログ製品を中心に、新規仕入先と代理店契約を締結

民生機器向けで 売上が大きく伸長

新たに取り扱いを開始した仕入先の商品

年々 取引が拡大

■ 既存事業の収益性の維持・向上

既存仕入先で取り扱う商材や販売先が増加

売上が伸長

デジタルマーケティングの積極的な推進

潜在的な需要の掘り起こし、商談化・案件化

- 新規領域における事業規模と収益基盤の拡大
- 既存領域における競争優位性の強化
- グループ連携の強化

航空宇宙分野

- 衛星搭載用の高信頼性部品や衛星通信関連商材のラインナップの拡充とシステム提案

産業機器分野

- 高精度の半導体実装・検査・解析装置の販売を強化

レーザー機器分野

- 自動車市場向けに青色レーザーを用いた金属接合技術を提案
- 医療市場向けには樹脂接合機器の拡販を推進

医用機器分野

- 主力のMRIやCTなどの画像診断装置に加え、超音波診断装置や内視鏡などのラインナップを拡充
- 放射線治療システムの販売体制の整備や事業エリアの拡大

- 高付加価値ビジネスの開発推進
- 新規ビジネスモデルの構築と拡大
- ソリューション開発力の向上とグループシナジーの創出

ICTソリューション分野

ローカル5Gの運用確立を目指す

- 商材の拡充に取り組む
- 技術力やノウハウの蓄積
- オンラインでの保守サービスの導入を検討

AI・IoTソリューション分野

ヒューマノイドAIロボットのアプリケーション開発

- 介護施設に加え、警備や運搬用途への利用を見込み、警備業界、宿泊施設への展開を計画

当社グループは
安定して利益を創出する企業を目指すべく、
中期経営計画の取り組みを
着実に進めてまいります。

